



# 「防災マップ」

## 避難の流れ

大地震の発生  
各自で避難

1 一時集合場所  
深川ふれあいセンター

延焼火災なし  
延焼火災あり

2 避難場所  
清澄庭園

危険が収束

3 避難所  
深川第二中学校

※自宅に被害がなく、避難の必要が無い場合は除く。

## 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは、地震などの災害発生により多くの方が一斉に電話をかけ電話がつながりにくい状況になった場合に開始されるサービスです。声の伝言板として、家族間での安否確認や集合場所の連絡などに利用できます。

### 録音方法

171-1-(XXXX)XXXX-XXXX 録音

被災地の方の自宅などの番号を市外局番からダイヤル

### 再生方法

171-2-(XXXX)XXXX-XXXX 再生



## 地震発生時の行動ポイント

地震発生～2分 発生後2～5分

とにかく自分の身を守ろう  
落下物から身を守るため、机の下に入ったり、大きな家具から離れるようにしましょう。足のケガを防ぐために靴やスリッパを履きましょう。

発生後5～10分 発生後10分～半日

自分の安全を確保できたら、我が家の状況を確認しよう  
我が家の状況を見て避難が必要となったら、電気ブレーカーを落とし、非常持出品を持って避難しましょう。

## 日頃から備えておこう

- 訓練に参加しよう**  
災害が起きたときに、何の準備もなく適切な行動をとることは不可能です。災害時に適切な行動をとり、被害を最小限に抑えるには、日頃から防災訓練に参加することが大切です。
- 非常持出品を用意しよう**  
避難の際に当面必要となる物を用意しておき、それらをリュックなどに入れ、いつでも持ち出せる所に置いておきましょう。■日常の薬・特に携帯電話バッテリー
- 家の中を安全に**  
二次災害を防ぐために、大きな家具を固定する、ガラスに飛散防止フィルムを貼る、石油ストーブの転倒防止をする、などが大事です。
- 家族会議を開こう**  
災害時に家族が離れ離れになってしまう事態ほど不安なことはありません。家族会議で、待ち合わせ場所や、災害用伝言ダイヤルの活用法を決めておくことが重要です。
- 避難場所などを確かめよう**  
災害時の避難所や避難場所だけでなく、一時集合場所なども確認しておきましょう。いつもの道が壊れた建物などで通れない場合に備え、複数の経路を確認することも大切です。帰宅困難になった時に備え、水、トイレや情報提供の支援を受けられる施設を事前に調べておくことも重要です。

【江東区防災マップより引用】